

知らなかつた土砂災害

宮城県岩沼市立岩沼中学校

二年

平田

理恋

今から十年以上も前の平成二十六年八月二十日に、広島県で被害の大きい土砂災害が発生しました。死者七十七名と負傷者四十四名。他にも線状降水帯の発生によって、わずか三時間で平年の一ヶ月分もの雨が降ったそうです。

私は、ユークリッドでその時のニコリスヤ

動画を見てみました。思っていた以上の速さで家が土砂に飲み込まれていて津波のようを感じました。これでは明らかに逃げ切れなさと私は思いました。もし警戒アラートが発表されても、みんなどうせ来ないと警戒をせず、に油断をしたならば、たくさんの方が命を落とす原因になったに違いないとも思いました。更に雨の降り方がいつもと違って、一時間に三十ミリメートル以上の雨が降り続いたらしい、総雨量が百三ミリメートルを超えたと土砂

災害が起こる可能性が高まることを知りまし
た。

他にも私の見た動画では、土砂災害が来る
前は、自然豊かで緑も多く家もたくさんあ
たのに、土砂が流れて来たため、泥が住宅街
まで来て、緑色の田んぼや木々もみんなぐちゃ
ぐちゃになっしまいました。まるで山から川が
流れていようでした。さらにその流れは速
く、もし自分も巻き込まれたらと思うと、泳
ぐこともできないだろうと思います、とても恐ろ

しく感じたものです。動画では、被災した広
島県全体は、土砂災害の被害により茶色い海
みたいに見えました。

私が住んでいる宮城県は、土砂災害はあま
り多くなく、年に約九件ぐらいと言われまし
ます。確かに少ないですが、私たちも住んで
いる日本では、十年間で約千四百五十件と言
われています。特に日本で土砂災害が多い県
は広島県なのです。

なぜ、広島県は土砂災害が多いのでしょうか

か。広島県で多い理由は、県土の約70%が
 山地で、つまり土壌と呼ばれる、水を含める
 と崩れやすい土壌があることとが原因なのだそ
 うです。そのため土壌の上に住宅があると、
 家ごと崩れてしまうのです。
 私は、小学校の理科の授業で、地層ができ
 るしくみと、いろいろな単元を学習したことを覚
 えています。流水の水のほたらきによって、
 どのような地層ができるか、という予想を考
 えることになりました。
 それから、友達と一緒に実験を始めたのだ
 す。一人目が、と、という道具を斜めにし
 て、この所に土を置きました。私は、と、に
 水を流す役目でした。水を流してみると、さ
 っきまで盛り上がり、ていた土が、と、いう間
 に流れてしまったのです。それを見て、私は、
 家に帰って、この動画をみてみると、あの実験の
 ように、と、にあつた土が崩れるのと一緒で
 あると感じました。理由は、大雨が降って山

が崩れて家が無くなるというのは、さっきまで
 あったのがあって、う間に流れてなくなる風
 景と、まるで似ていたからです。
 それで、私は、土砂災害の防止について考
 えてみました。まず初めに考えたのは、山を
 崩して盛り上げ、そこに部分をなくして、木林を
 作ることにします。他にもあります。もし森を作
 れないとなったら、まず土砂災害を減
 査して安全かどうかを確認することです。山
 にダムを造るだけでなく、災害に備えて身近
 な地域に防災倉庫を作り、避難訓練をするこ
 とも必要です。
 それでは、広島県の人達には、どうやって土
 砂災害を防いでいるのでしょうか。広島県ど
 ちまに、土砂災害警戒区域と、土砂災害特
 別警戒区域の二つの区域に分け、危険性の
 周知や警戒避難体制の整備、新規住宅立地の
 抑制などを進めているそうです。
 さらに、この大きな土砂災害が起きてから、
 市町村や住人が居住地の危険性を正しく認知

する。とかができるようになった。たと聞きます。
 私は、実験をしたとき、まるで土砂災害の
 ようだなと、感じました。私は生まれこ
 り一度も土砂災害の光景を見たことはなく、
 少し話を聞いたぐらいのものでした。だから、
 土砂災害にっいて怖い印象はなく、大事にな
 るような災害だとは思いませんでした。
 でも、この実験をして、今まで土砂災害に
 ついて知らなかったけど危険であるといふこ
 とを確かに知ることで、かましました。これか
 ら
 は生きこいる中で、もし土砂災害があつても
 避難すべきときは冷静に判断していきな
 思います。もし私の周りに土砂災害が危険
 であることを知らないうちにいたら正しく教
 えていきたいとも思っています。なので、家族と一
 緒に県のホームページを見て、自分の住む場
 所は土砂災害が起こりやすい場所かどうかを
 調べたり、避難する場所や避難する経路を改
 めて考えたりしたいと思っています。